

## 【池兄弟】

今回は呉世昌の書から大正13年(1924)の朝鮮行をみました。

この年の訪朝は池雲英、池錫永兄弟の書画からもたどることが出来ます。

兄の池雲英(1852~1935)はもと池運永という名前でした。1882年、

朴泳孝の修信使一行に加わって来日、神戸で写真撮影を学び、帰国後、朝鮮人で

は初めて高宗の写真を撮りました。

『韓国人物大事典』(韓国精神文化研究院)などによると、1880年代初頭に  
統理軍国事務衙門の主事として開化政策の具体化にも尽力しました。甲申政変  
後、金玉均を暗殺するため来日しましたが失敗し、朝鮮に強制送還、配流に処さ  
れました。

1895年に釈放され、再起をはかりましたがうまく行かず、隠遁生活に入り詩  
書画に没頭しました。白蓮と号し、山水人物画に優れ、1922年の第1回朝鮮  
美術展覧会に「山人濯足図」を出品して入選しました。

池雲英の写真や絵画については、卞京花「白蓮 池雲英의 生涯와 作品世界」(梨花女子大学校大学院2006年度碩士学位請求論文)が詳しく考察しています。

弟の池錫永(1855~1935)は韓国に種痘法を普及させたことで有名で、国語  
学者としても知られます。独立協会の主要な会員としても活躍しました。兄弟  
は後、須永元と親交を結びますが、金玉均の暗殺未遂犯と金玉均支援者の須

永が親しくなった経緯についてはよく分かっていません。黄鍊が仲立ちになったのかも知れませんが、さらに調べたいと思います。

### 【第二次日韓協約】

今回、大正13年の朝鮮行について述べるにあたり、その前段階として明治38年(1905)11月17日の第二次日韓協約調印時に話をさかのぼりたいと思います。なお、朝鮮王朝は1897年に国号を「大韓帝国」と改称しました。略称は「韓国」です。

第二次日韓協約によって日本は韓国の外交権を掌握しました。須永はこのことを新聞報道で知り、2日後の19日、日記に書きました。一部を翻字します。

「読新聞紙、知日韓新條成矣。韓国、為日本之保護国。是韓国内外之政、皆在日本政府之指掌。直以書与朴泳孝吊之。余为我国欣之、為朴泳孝不能□一掬之涙也。噫。」

□部分はよく読めませんが、文脈からすると「止」のような意味の字が入るのでしょうか。須永はこの協約を歓迎しながらも、朴泳孝のことを思って涙を抑えられなかったという意味になります。

この協約に対し、韓国では抗議のための自殺が相次ぎました。その先頭を切った

のが関泳煥です。

### 【血竹図】

関泳煥(1861~1905)は驪興関氏の一族で、明成皇后の甥にあたります。

桂庭と号し、政府の要職を歴任しましたが、第二次日韓協約には反対し、遺書をのこして自決しました。このことは韓国社会に衝撃を与え、関泳煥は忠正とおくりなされました。

その翌年、自決の際に身に着けて血に染まった衣服などをまつた関泳煥の自宅の部屋に竹が生え、「血竹」として話題になり、楊基薫(号石然)という画家がこの竹を描きました。

大正13年、須永はこの絵を借りてソウルにいる池兄弟のもとを訪れ、模写を依頼しました。その絵に弟の池錫永が当時の経緯を文章にし、「関忠正公血竹説」と題しました。

冒頭だけ紹介します。

「歳甲子季夏、日東名士須永**輶齋**先生、慕我大韓忠臣桂庭関忠正公泳煥、専冒暑炎、往拜其墓。高義可欽也。一日借携楊石然之所画桂公血竹図簇子、来訪我家兄白蓮、先生懇其摹写一本、永寓愛慕之意。」

甲子は大正13年(1924)です。この年の六月(陰暦)、猛暑の中、須永が関泳煥を慕って墓参りしたというのです。墓は現在、京畿道龍仁市にあり、京畿道記念物に指定されています。「簇子」はあまり見ない言葉ですが、掛け軸のことです。

この文章の次に関泳煥の遺書が転記され、続いて池雲英が「関忠正公血竹賛」という四言24句の画賛を書いています。賛なので韻文で、偶数句ごとに「下平九青」で押韻しています。

須永が関泳煥の墓参りをしたことは兄弟に感銘を与えたらしく、池雲英はその後も繰り返し須永を称えています。

昭和4年(1929)4月、碑文用に書かれた雲英の文章を紹介しましょう。

「須永元**輶齋**先生、非日本人也、是天下人也。以天下之公心、吊朝鮮忠臣関忠正公墓、出於樂毅吊王**蠋**墳之義也。嗚呼感哉。

先生一人之涙、万国之涙歟。

愚弟洌上七十八翁白蓮池雲英書、為頃刻碑

己巳浴仏日」

王蠋の「蠋」は、原本では偏が「斤」ですが、文脈から「蠋」の異体字と推定しました。

楽毅は中国戦国時代の燕の名将です。王蠋はもと斉王につかえていましたが隠退し、楽毅が斉を攻めた時、王蠋が賢者であると聞き、招こうとしましたが、王蠋は「忠臣は二君につかえず」などと言って拒絶し、首を木にくくりつけて自殺しました。

己巳は昭和4年、浴仏日は4月8日です。

2024年7月17日 広沢有久

須永文庫資料研究室のアドレスは<https://sano-haku.com/sunaga-bunko/>